

立志大成



9/16 (水)。甘楽町総合グラウンド(白倉グラウンド)で「令和2年度校内陸上大会」が行われました。今回は、新型コロナウイルス感染防止対策で学年別での実施になりました。

午後1時20分。前日まで天候が心配されていましたが、そこは、生徒たちと教員の日頃の行いと「気合い!」とで晴れ間も覗くようになりました。予定より早く整列した2年3組を先頭に会場に移動。久しぶりの行事に対しての意気込み・みんなのやる気を感じ嬉しくなりました。会場に入り、荷物を置いて時間の余裕がありました。生徒たちは自主的に、クラス毎に分かれ準備体操やアップに取り組んでいました。声をそろえて体操をするクラス。足並みをそろえ声を出しながら、集団走をするクラス等……。どのクラスも絆を強める工夫をしていました。

午後2時。個人競技開始。走ることや跳ぶことが得意な生徒も苦手な生徒もいる中、全ての生徒が、自分が出場する種目と真剣に向き合い、全力で走り全力で跳んでいました。その必死でゴールを目指す姿に、教室の授業では見られないものを感じ、頼もしさを感じました。

個人種目が終了し、15分間の休憩の後、いよいよ全員種目の「長縄」になりました。「行くよー、それ! 1, 2, 3……。」どのチームも日頃の練習の成果を発揮し、どんどん回数を重ねていきました。特に、2組Cチームは100回を超えた時にみんなで拍手をし喜びながらも跳び続け、今回の最高記録154回をたたき出しました。見ていた周りから歓声やどよめきが起こりました。

競技が終わり片付けになりました。ここでも2年生の生徒たちは、日頃の学校生活で培った自主と協力の力を発揮し、あっという間に会場を元通りに片付け整理してくれました。これには、校長先生も感動し、お褒めの言葉をいただきました。2年生の成長が垣間見られた場面でした。逞しく頼もしくなったな、と改めて感じました。

今回の行事において、本校の合言葉「時を守り、場を清め、礼を正す」の中の、「時を守り、場を清め」の精神を実践することができました。また、2学年具体目標の「学校行事に全力を尽くす」「気遣い・気配り・思いやり」を実践することができました。大変有意義な充実した時間を過ごすことができました。生徒たちとの心に残る良い思い出が一つできました。

時間をつくり、会場で見守ってくださった保護者の方々、大変ありがとうございました。

